



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
お金って、信用だと知った時 気象予報士・お天気キャスター 森田正光



- 4 インタビュー／扉を開く
松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科教授
 進化する「人工知能」の可能性

- 9 地域の底力——宮城県本吉郡南三陸町
大震災の思いを胸に刻みつつ
持続可能な未来を目指す宮城県本吉郡南三陸町



- 17 対談／守・破・創
森永卓郎 経済アナリスト・獨協大学経済学部教授
片岡剛士 日本銀行政策委員会 審議委員

「隣人を助ける原理」に基づいた小規模分散経済へ転換せよ

日本銀行のレポートから

- 21 「地域経済報告」(さくらレポート) —2021年1月—
 22 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2021年1月—

- 24 FOCUS → BOJ 35 日本銀行情報サービス局 金融広報課の仕事
「人生100年時代」に向けて
 ～広めようお金の知恵、育もう生きる力



- 28 トピックス
福井事務所は移転しました ほか
- 31 AIR MAIL from Frankfurt
ベルリン空港物語

※本誌は3月3日(水)までの情報をもとに掲載しています。

表紙のことは

日本銀行広島支店は、明治三十八年(二九〇五)、出張所として水主町(現在の中区加古町)にて営業を開始しました。当時、当地では軍の機関が配置され、国庫金の出納事務が多かったことから、円滑な資金流通を図るために開設され、明治四十四年(一九一一)には支店に昇格しました。

表紙の初代店舗は、開設までの期間や物資、労力などの状況により、木造にて新築されました。本館、レンガ造り平屋の金庫および機械室、付属家で構成されています。本館は、木造モルタル仕上げの外壁に丸柱の列柱を配し、スレート葺きの屋根にドーム屋根とドーマ屋根(注)を配した石造り風の洋風建築でした。

その後、業務の拡大に伴い、昭和十一年(二九三六)に袋町の二代目店舗に移転するまでの三一年間、初代店舗は営業を続けました。現店舗は、平成四年(一九九二)三月、基町に三代目店舗として新築移転されたものです。開設以来一〇〇年以上の歴史を誇る広島支店は、これからも地元とともに歩みを続けていきます。

(注) ドーマ屋根…屋根裏の採光のために屋根面から突出して取り付けられた屋根窓。



表紙・画 北村公司